

勤務ノ成績ニ依リ會社ニ於テ任意支給スルモノナ
ルハ也ト明シニ規定スル性質ノモノニアラズトテ拒
絶

六 試験上ヨリ本座採用ニ関スル株
會社側ニ於テ身元調査終了後一ヶ月以内ニ本座ニ
採用スルコト尙本座ニスルコトハ二ヶ月ヲ経過シタル
モノナルコト

七 職工専用ノ食堂及浴場建設ハ兼認
ハ一ヶ月ニ回ノ公休ハ業務ノ性質上不能ナルトノ理由
ニヨリ拒絶

九 慰安會社一回ヲ認メ当白ハ公休トスルコト
右回答ニ對シ職工代表五名ハ別室ニ入り協議ノ結
果何等ノ意見ヲ述ハス午後四時ニ十分其後退場
セリ

3. 會見後ノ職工側ノ動靜
會見ヲ終ルヤ交渉委員ハ豫テ場内広場ニ於テ
會社ノ回答如何ニト待受ケタル約百名ノ非番職工

ニ對シ交渉決裂ニ終リタル旨ノ報告ヲナスヤ職工中
同盟罷業タト叫ブ者アリシカ為メ就業シ居タル
職工ノ大部分又同所ニ集合シ来レリ折柄当白大
阪聯合會ヨリ派遣セラレタル瀨野久吉ハ此處
ニテハ到底先分ナル和談出来サルヲ以テ一應争議
團本部ニ引場ケテハ如何ト計リシニ職工ハ之ニ賛
シ直ニ全工場ヲ立出テ附近ナル争議團本部ニ引
揚ケ約五十名ノ職工ハ先ニ大阪聯合會ニ於テ印
刷シタル別添ノ如キ宣傳ビラ五萬枚ヲ市内各要
場所ニ撒布ス可ク出懸ケタリ

二 罷業後ノ會社側ノ措置
豫メ他工場ヨリ雇入レ入場セシメタル約百二十名
ノ職工ヨリ直ニ少シ代ハラシメ各部四者ニ就カ
シメタルヲ以テ瓦斯供給上ニ於テハ支障ヲ見サ
キ

三 労働組合座接ノ状況
大阪聯合會ニ於テハ二十一日午前九時ヨリ争議